

しんぶん赤旗を
日刊（電子版も）
3,497円／月
日曜版930円／月
申込み 363-1450

民主なかがわ

第241号

日本共産党中川区編集委員会編集
中川区荒中町157荒中マンション
電話 363-1450
FAX 352-7801
http://egami-hiroyuki.jcpweb.net/

気候危機に自然災害 対策大丈夫？

日本共産党中川区委員会
は、新年のつどいを兼ねて
時々のテーマで学習会を開
催しています。2月25日、
「気候変動をくい止めるた
めに」と題して井内尚樹名
城大教授が講演しました。

「やり過ぎ」していませんか
井内氏は、最初に、能登
半島地震に触れ、「199
5年の阪神淡路大震災、2
011年の東日本大震災、
そして、今回。日本に10年
から15年の間に、巨大地震
が発生し、その間、熊本地
震、中越地震もありました。
頻繁に地震があると思っ

散型で、循
環型地域社
会の大切さ
を強調され
ました。そ
の例に、セ
ンサー付き
水道管、木
造仮設住宅
公共工事も
素早く対応
できる地元
建設業重視
学校給食セ
ンターでな
く自校方式

「避難所に太陽光発電を
蓄電装置など設置し、災害
があっても電気が供給でき
る必要があります。それが
できているでしょうか」と
問いかけ、「気候危機十自
然災害を考えると、
と対策を話しました。」

「地球温暖化対策のため
には、石炭火力発電所を止
め、それに代わる太陽光発
電をはじめ対策を示し、2
050年にCO2排出ゼロを
進めましょう」と、呼びか
けました。

石炭火力発電所を止める
地震災害から、大規模一
極集中型のインフラシステ
ムの再建でなく、小規模分

石炭から水素でいいの？
今、水素利用が言われて
いますが、「石炭から作る
水素利用でいいのか」との
質問に、「ドイツでは、再
生エネルギーによる電気分
解で水から水素を作るまで
は、電気エネルギー重視で
す」との回答でした。

「名古屋城バリアフリー
に関する市民討論会」にお
ける差別事案にかかる検証
について（中間報告）を名
古屋市ホームページ「新着
情報」2月14日で閲覧する
ことができず▼討論会会
場で、車いすの方が、最上
階までのエレベーターの設
置を求めたことに対し、
「わがまま」
「ずうずう
しい」、
「我慢せい」、さらに、障
がい者を示す差別用語まで
発言▼報告は、「法令に反
するものであり、明確な障
がい者差別である」「差別
を表現する自由というもの
は認められない」と断じて
います▼この場に、河村市
長、副市長、局長、障がい

者差別解消の担当職員など
がいて、だれも、「差別発
言」として止めなかったこ
とが問題です。それどころ
か、河村市長は、また、閉
会あいさつで、「熱いト
クもあってよかった」と発
言。市長は、「発言は、よ
く聞こえなかった」という
ことを言っています。しか



最上階まで誰でも行けるの
が最低条件 えがみ博之

貧困格差拡大、地球温暖
化、という資本主義の害悪

「このままでもいいのか」と
問ひかけ、対案を示してい
こう、と声が出ました。

平和あつての節分祭

2月3日、恒例の節分祭
でにぎわう荒子観音で、改
憲NO！中川総がかり行動の
皆さんが、能登半島地震支
援カンパを呼びかけながら、
「憲法9条を生かして平和
を」と宣伝を行いました。

「裏金で、だれが、何に使
たかも明らかにしない議員
が、憲法審査会で、憲法を
変えようなんて、とんでも
ない」と訴えていました。
多くの参拝客が募金にも応
えていました。

能登半島地震支援募金
自民党は、政治資金パー
ティー券のキックバックで
大量の裏金作りが判明し、
国民の怒りが沸騰、支持率



井内氏（右端）を問う姿勢の自然災害や気候危機



2月3日、恒例の節分祭

弁護士相談3月21日（木）午後6時半 電話連絡363-1450 江上事務所

新年度予算審議始まる

新年度予算を審議する名古屋市議会が、2月20日開会しました。3月21日まで開催されます。

2月20日、河村たかし名古屋市長は、提案説明を行いました。日本共産党名古屋市長は、

物価高騰で苦しむ市民に「3つの保険料値上げ」

- ① 国民健康保険平均保険料（医療分と後期高齢者支援分合計）は、年7492円値上げ、年10万1822円から10万9314円へ7.4%増です。
- ② 後期高齢者医療平均保険料は、年1万2264円の値上げ、年9万1117円から10万3381円へ13.4%増です。
- ③ 介護保険第1号被保険者基準保険料は、3694円の値上げ、年7万9709円から8万3403円へ4.6%増です。

「金持ち減税（総額約百億円）」やめて、福祉 子育て支援に

市民の命と暮らしをないがしろにする新自由主義の



推進。「金持ち優遇の市民税5%減税」による毎年度約100億円の減収によって、福祉・医療・市民サービス削減の「行政改革」が進められています

- ① 施設の民営化や業務の委託化で（職員）定員の削減 一般会計で一般職員で△26人 水道事業・下水道事業会計で△15人
- ② 公立保育所の社会福祉

- 法人への移管
- ③ 厚生院特別養護老人ホームの縮小・廃止（2027年度末）
- ④ 総合リハビリテーションセンターの市大病院化（2025年4月）について、医療と福祉と連携、介護保険事業継続が求められています。

行き詰まる不急の大型事業推進

- ① 2025日本国際博覧会への出展準備 6百万円
- ② 中部国際空港株式会社へ整備費貸付（代替滑走路整備に向けた設計等） 1415万円
- ③ 名古屋城天守閣の整備 天守閣木造復元の実施設計や昇降技術開発にかかる設計等 4億664万8千円
- ④ ささしまライブ24地区・出資
- ⑤ 都市高速道路の出入り口の追加・改良（黄金など） 名古屋高速道路公社への出資金 16億9千8百万円
- ⑥ 建設資金貸付金 39億6千2百万円
- ⑦ 木曾川導水路事業への出資

国の動きに応じた対応

- ① 国民保護にかかる研修・訓練等 536万6千円
- ② （拡充）DXの推進 前年度33万1千円
- ③ 出合いや結婚の希望をかなえる支援6千2百万円
- ④ ミナー、ライブデザインセミナー及びワークショップ 102億8478万7千円

地域経済活性化

- ① プレミアム商品券（地域経済活性化促進事業） 91億3833万円

党市議団の論戦、市民の運動での成果

- ① 中村区役所等複合庁舎・地下鉄本陣駅間地下通路整備 110億9199万6千円（うち市営バス・地下鉄分90億2077万9千円）
- ② 敬老バス
- ③ 留守家庭児童健全育成

- ④ 小学校6年生での35人学級の実施
- ⑤ 就学援助所得基準額の変更 対象者拡大
- ⑥ 能登半島地震を踏まえた地震対策に関する検証
- ⑦ 民間建築物の耐震化
- ⑧ 「名古屋平和の日」の制定と平和継続事業
- ⑨ 中川福祉会館・児童館リニューアル改修設計
- ⑩ 2024年度設計
- 25年度から26年度改修工事

財政規模

- ① 一般会計 5.2%増 1兆4853億円
- ② 財源のうち市税収入 6276億3千1百万円（前年度比2.2%増）

河村市長の政治姿勢を問う

河村市長は、市民要求に反する発言を行っています。学校給食無償化に対して、「全部タダにすると金持ち優遇になる」と述べて無償化実現に背を向けています。名古屋城天守閣木造化についての市民討論会で、天守最上階までバリアフリーを求める市民の声に対し差別発言があっても、止めるどころか、「熱いトークもあつて、よかった」とまとめました。その後、「不適切な発言」と認めましたが、発言そのものの撤回は拒否しています。

区民要望届ける

「中川区良くなる会」が1月31日区役所交渉を実施。



無料相談（子育て・教育問題も）毎週月・木 午後6時半から8時
弁護士相談 毎月第3木曜 えがみ博之事務所まで電話363-1450

3月早朝宣伝

- 1日 金 JR春田
 - 4日 月 あおなみ線小本
 - 5日 火 下之一色
 - 8日 金 地下鉄高畑
 - 12日 火 近鉄戸田
 - 15日 金 万場小橋
 - 19日 火 名鉄山王
 - 22日 金 あおなみ線中島
 - 26日 火 近鉄伏屋
 - 28日 木 あおなみ線荒子
 - 29日 金 JR尾頭橋
- 朝7時30分から8時